



開館史上、最大級



From TFAM's Collection: One of Japan's Largest Ever Exhibitions of Western Paintings

東京富士美術館

とことん見せます! 富士美の西洋絵画

日本最大級の西洋絵画コレクション、全貌公開!

♪ 名曲コンサート

【フランスの至宝 ジェラルール・プーレ ヴァイオリンリサイタル】

～ドビュッシー ヴァイオリン・ソナタ初演から100周年記念～

日時: 2017年2月5日(日) 14:00~15:00 (開場 13:30)

会場: 東京富士美術館 ミュージアムシアター

料金: 無料 (ただし展示会の入場料金が必要です)

申込み: 不要。定員200名 ※当日正午より、公演会場入口にて入場整理券を配布 (お一人様一枚配布)

内容: フランス文化勲章受賞の世界的ヴァイオリニスト、ジェラルール・プーレ氏が富士美に出演! 彼の父ガストン・プーレ氏は1917年ドビュッシーが「ヴァイオリン・ソナタ」を作曲家自身のピアノで初演の際、共演したヴァイオリニストです。2017年はその初演(1917年5月5日)から100周年を迎えます。父から直伝の「ドビュッシー」を始め、フランスや欧州珠玉の名曲を奏でます。興味深いお話と円熟の演奏にご期待ください!

曲目: プーランク/ヴァイオリンとピアノの為のソナタ

Poulenc / Sonate pour violon et piano

クライスラー/ロマンチックな子守唄、愛の哀しみ、中国の太鼓

Kreisler / romantique, Liebeslied, Tambourin chinois

ドビュッシー/ヴァイオリンとピアノの為のソナタ

Debussy / Sonate pour violon et piano

※曲目・曲順は、当日変更となる場合があります。予めご了承ください。

ジェラルール・プーレ Gérard POULET (Violin)

フランスが誇る、世界的ヴァイオリニストにして、偉大な教育者。
1995年にフランス芸術文化勲章、1999年にフランス文化功労賞を受賞。

ジェラルール・プーレは、指揮者とヴァイオリニストであったガストン・プーレの息子として天才少年期を送る。(父親のガストンは、1917年ドビュッシーが「ヴァイオリン・ソナタ」を作曲家自身のピアノで初演の際、共演したヴァイオリニストである。)

11歳でパリ国立高等音楽院に入学し、2年後に首席で卒業。18歳でパガニーニ国際コンクール優勝。フランチェスカッティ、メニューイン、ミルシュテイン、とりわけ人生の師と仰ぐヘンリック・シェリング氏等の巨匠に師事。

世界中でソリストとして活躍。パリ管弦楽団、フランス国立管弦楽団をはじめ、世界の主要オーケストラと多数共演。78歳を超えた今も「現役」の演奏家として精力的にコンサート活動を行っており、世界各国の主要な国際コンクールにも審査員(長)として招聘されている。

偉大な教育者でもあり、2003年長年教授を務めたパリ国立高等音楽院を退官後、パリ市立音楽院とエコール・ノルマル音楽院で教鞭を執り、東京芸術大学客員・招聘教授(2005年~2009年)を務め、2010年より昭和音楽大学教授に就任。多数の音楽大学(桐朋・国立・沖縄県芸・愛知県芸・フェリス・作陽・洗足など)にも招かれている。

コンクールの優勝・上位入賞者を多数輩出し、日本ヴァイオリン界のレヴェルアップにも、大きく貢献している。世界中でマスタークラスを行っており、日本では、「京都フランス音楽アカデミー」「軽井沢国際音楽祭」「いしかわミュージックアカデミー」「北海道アップビート国際音楽セミナー中札内」「河口湖音楽セミナー」等に招聘されている。

パリ国立高等音楽院名誉教授、昭和音楽大学教授、日本弦楽指導者協会・日本フォーレ協会名誉会員。(オフィシャルサイト <http://www.gerard-poulet.com/>)



川島 余里 Yori KAWASHIMA (Piano)

東京生れ。3歳よりピアノを始め、桐朋学園子供の為の音楽教室に学ぶ。東京芸術大学附属高校及び同大学作曲科卒業、同大学院修了。

H.ピュイグ=ロジェ氏の指導と影響を受け、演奏家になる志を立て1989年渡仏。パリ国立地方音楽院にてピアノ科とピアノ伴奏科のブルミエ・プリを取得。O.ギャルドン、G.ジョフ(デュティエユ夫人)に師事。1987年ビティナ第1回特級2台ピアノ部門優勝。2000年イタリア・トラーニ国際ピアノコンクールファイナリスト。2005年大阪府吹田音楽コンクール作曲部門「ヴァイオリン・ソロ曲」で優勝。ソロ・室内楽奏者として幅広いレパートリーを持ち、オーケストラ共演も多数。ラジオ・フランスFM生放送でも演奏。公式伴奏者としても、「ロンティボー国際ヴァイオリンコンクール」「チンタオ(青島)国際ヴァイオリンコンクール」をはじめ、「ラヴェル国際音楽アカデミー」「ニース夏期音楽講習会」「カリアリ音楽アカデミー(イタリア)」等、国際的に活躍。パリ国立高等音楽院を始め、パリ市立音楽院、パリ区立音楽院(第1、第10、第16区)、パリ・エコール・ノルマル音楽院等、4校で同時に伴奏者として勤務する等の活動を経て、2005年帰国。国内外一流の多くのソリストから共演を依頼されており、とりわけヴァイオリンの巨匠ジェラルール・プーレ氏に最も信頼されるピアニストである。

東京芸術大学弦楽科及び附属高校で伴奏助手を務めた後、現在は、東京芸術大学と昭和音楽大学で、室内楽やソルフェージュの講師を務めている。